

## 令和6年度（2024年度）

## 事業報告書

### 特定非営利活動法人キープ・スマイリング

#### 1 事業の成果

##### ■病児等を育てる家族に対する生活支援事業

###### ①ミール de スマイリング事業

飲食店や地域の支援者と協働し、入院中の子どもに付き添う家族へのお弁当提供を実施しました。東京（聖路加国際病院・東京科学大学病院）や佐賀大学医学部附属病院、ドナルド・マクドナルド・ハウスなど全国5か所以上で定期的実施し、延べ1,600食以上を提供。協力店舗・シェフは延べ30軒以上に増加。また、企業とのコラボレーションとして、食材費の寄付や企業従業員による調理ボランティアの受け入れも実施し、CSR活動としても評価されています。

###### ②付き添い生活応援パック無償配布事業

長期付き添い入院となったご家族に、衣類・衛生用品・軽食などを詰め合わせた支援物資を全国の病院を通じて無償で提供しました。2024年度の配布数は年間で3,100を超え、延べ配布数は2025年3月時点で1万名を突破しました。物品提供企業は延べ140社を超え、配布対象病院も全国564施設にのぼっております。

###### ③付き添い生活応援パックライト事業

短期・緊急入院の付き添い家族を対象とした新たな支援策として、事業を試験的に実施しました。クラウドファンディングで応募があった病院を中心に、全国20病院に3000名分を無償配布しました。看護師長や受益家庭から高評価を得たことで、2025年度の本格実施を決定しました。

###### ④付き添い入院クチコミサイト「つきそい応援団」事業

「付き添い生活応援パック」申込画面の移管により、会員登録数が増加しました。月間アクセス数は1万人を超え、年間アクセス数は約13万人と成長し、付き添い生活に関する情報提供の場として活用が広がっています。2024年9月にはオープン2周年企画として、会員登録促進キャンペーンを実施しました。

###### ⑤付き添い応援団ハンドブック配布事業

「付き添い生活応援パックライト」に同梱する形で配布を行うことで、配布数の拡大が進み、また、送付希望病院も学会ブース出展をきっかけに増加しています。看護師からの評価も高く、付き添い家族への情報提供ツールとしての役割を果たしています。

##### ■病児等を育てる家族に関する調査研究、普及啓発、人材育成、政策提言および連携促進にかかわる事業

###### ①Smiling Family Days 2024 実施

母の日～父の日の5週間にわたり、「付き添い入院」の実態と課題を広く社会に発信しました。期間中は「#小児病棟をみんなで支えよう」クラウドファンディングの実施、付き添い環境改善への国の動きを紹介するオンラインシンポジウムのほか、「小児病棟わくわく応援団」との共催により、北千住マルイ店頭でのリアルイベントやZoomでのオンラインイベントも開催しました。病児家族当事者に加え、一般市民への啓発にもつながりました。

###### ②「えんたく」活動の継続と展開

全国の食支援団体ネットワーク「小児病棟付き添い食支援連絡会（えんたく）」では、引き続き11の幹事団体により連携体制を継続し活動しました。2024年度も継続して3年目となるタケダ・ウェルビーイング・プログラムの助成を受け、「付き添い食を提供したい人・団体のための運営ノウハウ実践講座」を実施しました。（助成事業は2025年6月末まで）

### ③小児病棟への直接支援事業の開始

新たな取り組みとして、「#小児病棟をみんなで支えよう」をキャッチフレーズにクラウドファンディングを実施し、430万円の資金調達を実現しました。  
 付き添い環境の改善を目的として、「食・睡眠・見守り」の3つのコースで、18病院に対し1病院あたり30万円相当の支援を行いました。睡眠支援においては、付き添い用に開発したオリジナルマットレスを7病院に合計50枚寄贈したほか、各病院のニーズに応じた必要物資の直接提供を実施し、見守り支援では、「小児病棟わくわく応援団」で連携する団体によるアクティビティを4病院へ届けました。  
 病院ごとの課題を個別に確認しながら、状況に応じた柔軟な支援を展開することができました。

### ④小児医療関連学会でのブース出展・啓発活動

日本小児看護学会、日本小児循環器学会、日本小児血液・がん学会、日本小児腎不全学会の4学会にブースを出展しました。  
 日本小児腎不全学会ではランチョンセミナー「入院中の子どもと家族への支援」を開催し、付き添い者の実態や当団体の取り組み、国の動向について医療者に共有する機会を創出しました。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 38,396】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
(1) 病児等を育てる家族に対する生活支援事業	①ミール de スマイリング事業 (小児病棟、ファミリーハウスで付き添い入院中の家族へのお弁当の提供) ②付き添い生活応援ブック無償配布事業 (小児病棟で10日以上付き添い中の家族に食料品・生活用品の提供) ③付き添い生活応援ブックライト事業 (小児病棟へ短期・緊急付き添い中の家族に食料品・生活用品の提供) ④付き添い入院クチコミサイト「つきそい応援団」事業 (Webサイトによる付き添い生活情報の提供) ⑤付き添い応援団ハンドブック配布事業	①令和6年4月～毎月1回 ②令和6年4月～平日毎日発送 ③令和6年8月～毎月送付 ④令和6年4月～ ⑤令和6年4月～	①マクドナルドハウス せたがや/東大/ふちゅう、聖路加国際病院、東京医科歯科大学病院、佐賀大学医学部附属病院 ②小児病棟、ファミリーハウス ③小児病棟 ④Webサイト ⑤小児病棟、ファミリーハウス	①3名 ②6名 ③10名 ④4名 ⑤3名	①1回1施設20～50名 ②全国病院564施設 ③全国病院20施設 ④全国の入院中のご家族 ⑤全国の入院中のご家族	①1,042名 ②3,105名 ③3,000名 ④— ⑤6,000名以上	33,114
(2) 病児等を育てる家族に関する調査研究、普及啓発、人材育成、政策提言および連携促進にかかわる事業	①Smiling Family Days 2024実施 ②「えんたく」活動の継続と展開 ③小児病棟への直接支援事業の開始 ④小児医療関連学会でのブース出展・啓発活動	①令和6年5月12日～5週間 ②令和6年4月～ ③令和6年8月～ ④令和6年7月～	①オンライン・北千住マルイ ②オンライン ③小児病棟 ④各学会開催都市	①15名 ②3名 ③4名 ④4名	①啓発のため国民 ②全国病院 ③全国病院18施設 ④医療者	①— ②— ③18病院に付き添い入院中の家族 ④—	5,282
(3) その他、この法人の目的を達するために必要な事業	令和5年度は活動実績なし						0